

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したようになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム シオンの園 くつろ樹
(ユニット名)	
所在地 (県・市町村名)	佐賀市大和町大字久留間3865-1
記入者名 (管理者)	西村 佳津恵
記入日	平成 19年 10月 1日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	シオンの園の経営理念・処遇モットーを基本とし、くつろ樹独自の基本方針、目標を立てています。また、事業所のISO取得に伴い、各部門の品質目標を立てています。	○ 毎年一度、見直しを行います。
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	シオンの園の経営理念・処遇モットーを基本とし、くつろ樹独自の基本方針、目標を立て取り組んでいます。また、事業所のISO取得に伴い、各部門の品質目標を立て取り組んでいます。	○ 今年度の品質目標は「サービスの質の向上」で、隔月1回の職員勉強会を実践中です。今後も理念の実践に職員全員で取り組みたいと思います。
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にされた理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	運営推進会議やカンファレンス会議、出張介護講座により理解を深めていただけるよう取り組んでいます。また、シオンの園の基本方針は誰でも見える玄関に掲示しています。	○ 今後も出張介護講座等の機会に、地域の方々への理解を深めていただけるよう取り組みたいと思います。
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	立地的に難しいところもありますが、隣接したご近所の方々には挨拶を行なっています。	○ 今後も挨拶は欠かさずに行なっていきたいと思っています。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	春のお祭りや夏祭り等、地区行事の案内をいただいた際には積極的にご利用者様共々参加しています。	○ 今後も積極的に参加し地域の方々との交流を図りたいと思います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	法人全体では夏祭りの開催、また、地域での出張介護講座等には参加させていただいておりますが、日々の業務の中では、地域に貢献できないかとの話し合いは特に行なっていません。	○	今後、地域に少しでも貢献できるよう検討していきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	機会あるごとに外部評価の意義については話をしております。また、改善点についても職員皆で話し合いの場を設け、改善に向け取り組んでいます。	○	今回の外部評価後も改善に向け職員皆で取り組んでいきたいと思ひます。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催中。行事報告・予定、2ヶ月間のホーム内での出来事等を報告しております。ご家族様、民生委員さんのご意見や質問、また、ホーム側からの提案等について話し合い、サービス向上に活かす努力をしています。	○	ご家族様より平日だけではなく土曜日に開催する機会を設けたら、より多くのご家族に参加していただけるのではないかとのご意見があり、今年度は土曜日の開催も実施しました。今後もサービス向上に活かせるよう意義のある会議の場としていきたいと思ひます。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	担当者との情報交換の機会を多く持ち、運営推進会議の中での議題に対し資料提供等の協力をいただいております。	○	今後も市町村担当者の方々との連絡・情報交換を密にしサービスの質の向上に向け取り組みたいと思ひます。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在、必要なご利用者様はおられません。パンフレット等の回覧で知識を得る程度です。	○	来年1月に「高齢者の権利擁護」についての研修会が開催される予定ですので、積極的に参加し知識を高めたいと思ひます。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	パンフレットの回覧や、研修会・勉強会には積極的に参加し学ぶ機会を持っています。また、入浴時等においては全身状態を確認しています。	○	今年度は8月31日に「リスクマネジメント・身体拘束について」の園内研修会に勤務者以外は全員参加しました。今後も研修会等には積極的に参加したいと思ひます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には利用契約書・重要事項の十分な説明、及び退居時にも十分な話し合いの場を設けご理解・ご納得をいただけるよう対応しています。	○	今後も十分な説明を行ない、ご理解・ご納得いただいた上で、契約・解約を行なっていきたいと思っています。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	カンファレンス会議に参加していただき、ご意見を尋ねる機会を設けています。	○	要望は言われるが、意見や苦情はなかなか聞き出せない。今後もカンファレンス会議に参加していただき、ご意見を尋ねる機会を設けたいと思います。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	各個人に応じた連絡を随時行なっています。また、季刊誌を発行しご家族へ送付しています。	○	定期的に「くつろ樹通信」を作成後、ご家族へ送付し近況報告をしています。運営推進会議も含め、今後も各個人に応じた報告をおこなっていききたいと思っています。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情受付箱を設置しており、また、口頭でのご意見等に関しては「苦情受付書」を作成し早急な改善への取り組みをおこなっています。法人全体ではオンブズマン委員会を発足させ外部者へ表せる機会を設けています。	○	今後もご家族の意見・不満、苦情については早急に対処していきたいと思っています。また、外部者へ表せる機会については協議していきたいと思っています。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	部会等で活発な意見・提案を基に上申しています。また、日々の業務の中での意見等も反映できるよう努力しています。	○	法人全体では「提案制度」を設けており、様々な提案について反映されています。また、今後は個人面談の機会を設け意見や提案を反映させていきたいと思っています。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	毎日の勤務体制は勤務表を基にしていますが、状況の変化等については、都度、調整に努めています。	○	様々な状況の変化や要望に対し、また、ご利用様の重度化やターミナルケアに対しても、いつでも柔軟な対応ができるよう運営者と協議していきたいと思っています。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	人事異動については十分に検討し馴染みの関係を築いた職員の異動をできるだけ最小限に留めるように配慮を行なっている。代わる場合においても、経験のある職員を配置するよう努力している。	○	今後も馴染みの関係を築いた職員の異動に際しては十分な配慮を行なっていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	OJT実績表に基づき、基本的知識・技術の指導を行なっている。また、年間教育訓練計画にて職員の研修参加の機会を設け、知識・技術の向上に努めている。	○	園内外の研修参加の機会を設け、研修後は他職員へその知識・技術を伝達し、向上に努め、より良いサービス提供が行なえるよう努めていきたい。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム関係の研修会参加を進め、研修会にて同業者との交流の機会を持ち、他施設の状況や情報を収集し自施設のサービス向上に努めている。	○	研修会等を通じて、同業者との交流を深め、相互訪問等も今後おこなっていけるよう努力していきたい。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	在宅部次長や地域課課長を置き、管理者や職員が意見・要望を相談しやすいようにしている。	○	職員が要望や相談を気軽に行なえるよう努めていきたい。また、職員間での交流の機会を設け、話しやすい雰囲気を作っていきたい。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	人事考課を用いて努力している職員の評価を行なっている。	○	職員各自が向上心を持って知識、技術の向上が行なえるように今後も評価内容等、検討しながら行なっていきたい
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	在宅福祉ケアマネ担当者により相談から利用に至るまで十分に配慮されています。	○	担当ケアマネから引き継ぐ際には十分な連絡調整を今後も続けていきたいと思います。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	在宅福祉ケアマネ担当者により相談から利用に至るまで十分に配慮されています。	○	担当ケアマネから引き継ぐ際には十分な連絡調整を今後も続けていきたいと思います。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	担当ケアマネにて充分配慮をされています。	○	今後も充分な対応を心掛けていきたいと思ひます。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ホームの事前見学をされ場の雰囲気や暮らしぶりを感じ取っていただひています。	○	ご本人やご家族の意向に沿えるよう努力したいと思ひます。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	新聞提供や食事の時間、洗濯物干しや畳みなど共に行ない、ご利用者様から昔の習慣など会話の中で引き出す努力をしています。	○	ご利用者様中心の生活支援を心掛け、様々な場面においてより良い関係を築いていきたいと思ひます。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時やカンファレンス会議、運営推進会議を通し、より良い信頼関係を築く努力をしています。	○	今後も相互の信頼関係を良好に保てるよう、努力していきたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	アセスメントや面会時、カンファレンス会議において相互のより良い関係が保たれるよう努力しています。	○	今後も良い関係が継続できるよう支援していきたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人の近隣の方々の面会時等にはゆっくりと過ごしていただけるような配慮をおこなっています。	○	今後も継続していきたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士の関わり合い、支え合えるように努めている	ご利用者同士の関係を職員全員が共有し、ご利用者お一人おひとりの個性を大切にしながら、席順の配慮やトラブルになる前の早目の対応等を心掛けています。	○	ご利用者様一人ひとりの個性を大切にしながら、相互の関係が良い方向へいくよう支援していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	法人全体での取り組みのなかでおこなっています。	○	今後も十分に配慮しながら継続的な係わり合いをおこなっていききたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	カンファレンス会議や毎日の生活の中で、ご本人の希望や要望を把握する努力をしています。また、何時でもご利用者様主体であることを忘れずに取り組んでいます。	○	今後ご利用者様の希望や意向を十分に把握し、常にご利用者様の立場に立った支援をおこなっていききたいと思えます。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント時やカンファレンス会議、また、面会時等の会話を通じ、生活歴や今までの経過等を把握するよう努めています。	○	ご利用者様お一人おひとりの生活歴や今までの経緯等、今後も十分に把握できるよう努めていききたいと思えます。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ご利用者様一人ひとりの現状を十分に把握できるよう、職員間の連絡を密におこない、また、毎月1回の部会等で話し合いを行なっています。	○	今後も随時状況の把握に努めていききたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	半年に1度のカンファレンス会議にはご家族、ご利用者様に参加していただき、意見や要望等を反映した計画書作成に努めています。	○	今後も常に努力し継続していききたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に一度のカンファレンス会議にて見直しをおこなっています。また、状態の変化や退院後の状況に応じ、随時、話し合いを行ない、現状に即した計画作成をおこなっています。	○	今後も常に努力し継続していききたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の生活状況は各ケース記録に記載。ケアプラン実施状況についても毎日記録している。毎月の部会においてケアプランの実施状況等を協議しながら実践しています。	○	今後も常に努力し継続していきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	随時、ご本人やご家族様の要望に応じ、対応できることについては臨機応変に対応しています。	○	今後もしできる事柄にたいしては、随時、臨機応変に対応していきたいと思えます。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティア訪問や民生委員さんの訪問等はありません。消防署立会いでの消防避難訓練も実施しておりますが、地域資源と協働しているとはいえないと思えます。	○	本人の意向や必要性に応じ、その都度、対応していきたいと思えます。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	特に行なっていません。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	法人全体での地域包括支援センターとの協働はありますが、当ホームご利用者様に関しては特におこなっていません。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時にご家族の希望があれば、ホーム協力医へ主治医を変更しておりますが、以前からの主治医にかかられているご利用者様に関しては、ご家族を通じ十分な情報交換に努めています。	○	今後も医療機関との連絡調整を図りながら対応していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力医による回診時(週に1回)に状況報告や診察をおこなっていただいています。	○	今後も医療機関との連絡調整を図りながら対応していきたい。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	法人の訪問看護ステーションと契約を結び、週に5日、健康管理の訪問を受けています。また、急な対応の際には法人の医務看護部の協力もあります。	○	今後も看護職との連携を図りながら、健康状態の把握及び健康管理に努めていきたいと思っています。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院された時には定期的な病状伺いをおこなっています。協力医や地域の医療機関との情報交換等がスムーズにおこなえるが、ご利用者の各主治医との情報交換が上手くいかない時もあります。	○	今後は各個人の主治医との連絡調整や情報交換に努めていきたいと思っています。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	かかりつけ医等との話し合いまでには至っていませんが、重度化した場合における指針及び看取りに関する指針を定め、ご家族へは運営推進会議やカンファレンス会議等で説明を行なっています	○	今後は医療機関との話し合いの場を持つ必要があると思っています。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ターミナルケアについては積極的に研修等に参加し部会等を通じ介護職員として何が必要か等の情報の共有に努めています。	○	今後もターミナルケアや重度化になった場合の対応を職員全員で話し合いながら、ご利用者様が安心して生活できる場を提供していきたいと思っています。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	グループホームからホームへの移動時等には各関係者、ご家族と十分に話し合いをおこない環境の変化に対する配慮をおこなっています。	○	今後も十分な協議を重ね対応していきたいと思っています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	「個人情報保護に関する基本方針」を基に対応し、ご利用者様の記録等に関しては、同意書をいただいています。また、個人の尊厳を重視した対応を心掛けています。	○	基本方針を基に対応していきます。また、プライバシーに配慮し個人の尊厳を重視した対応を行なっていきたいと思ひます。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している	個人の意思を尊重し、自己決定の存続が図れるような対応を心掛けています。	○	今後も常に努力し継続していきたい。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	常にご利用者様主体の生活を心掛け、ご利用者様の立場に立った支援ができるよう努力をしています。また、その日、その時々状況により決して無理強いをしない柔軟な対応を心掛けています。	○	今後も常に努力し継続していきたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	服装や化粧もご本人の意思を尊重し対応中です。自己決定が困難なご利用者様には、その方々に応じた支援を行なっています。また、理美容についてはご本人の希望のお店に出掛けています。	○	今後も常に努力し継続していきたい。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個人の持てる力を活かしていただけるよう、野菜の皮むきや胡麻すり、おかずの注ぎ分け、食器拭き等を職員と共にこなしています。また、食事の好みを把握しながら、メニューに取り入れています。	○	今後も常に努力し継続していきたい。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	ご利用者様の好物を把握し、10:00の水分提供時、15:00のおやつ時等には個々に応じた提供を行ない、希望に応じ随時提供中です。また、誕生会食にはご本人の希望のメニューを提供しています。	○	今後も常に努力し継続していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	ご利用者個人の排泄パターンを把握しながら、その時々状況に応じた支援に心掛けています。	○	今後も常に努力し継続していきたい。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	現在夕方4時より入浴を開始していますが、状況や希望に応じた対応しています。また、個別対応での入浴を実施し、一人ひとりがゆっくりと入浴していただけるよう努力しています。	○	今後ご利用者様の希望や状況に応じた入浴の対応を行なっていきたい。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	ご利用者様の状態把握を行ないその時々状況に応じた対応を心掛けています。また、個人の生活習慣や希望により自室での静養をされる方もいらっしゃいます。	○	今後も常に努力し継続していきたい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ご利用者様一人ひとりの生活歴や残存機能を把握し、充分に持てる力を発揮できる機会と場面作りに取り組んでいます。	○	今後も常に努力し継続していきたい。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の希望と合わせ、ご家族の希望及び個人の力量に応じた支援を行なっています。	○	今後も常に努力し継続していきたい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	その日の状況に応じ、ドライブや買い物外出に出掛けています。また、個人の希望に応じ随時外出支援ができるよう努力しています。	○	今後も常に努力し継続していきたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	毎年、法人内でのご利用者様一泊旅行を実施中です。また、誕生日には担当者と共に外食に出掛けることもあります。	○	今後も常に努力していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	暑中見舞いや年賀状はご利用者様に書いていただいています。また、電話をかけたい時には都度対応中です。	○	今後も常に努力し継続していきたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	馴染みの方々が気軽に訪問できる特別な工夫はしていませんが、訪問していただいた時には、状況や希望に応じ各自室や畳み部屋等でゆっくりと過ごしていただけるよう配慮しています。	○	今後も常に努力しいつでも気軽に訪問していただけるよう対応していきたいと思います。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束0さが宣言」を基に職員全員が認識しており実践しています。	○	今後も継続していきます。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は夜間帯のみ施錠しています。居室戸口についてはご本人の希望に応じ施錠し対応中です。	○	今後、職員一人ひとりが十分に理解し鍵をかけないケアに取り組んでいきたいと思っています。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中帯は広間に必ず見守り職員を配置し、常に所在確認を行なっています。夜間帯においては定時の巡回時に安否確認をおこなっています。	○	今後もご利用者様の安全には留意しながら対応していきたい。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	各自室には個人に応じ、手洗い用の液体石鹸、歯磨き粉、軟膏等を常備しておりますが、危険な利用の可能性がないか常に気にとめ対応中です。	○	今後も物品の保管・管理については十分に配慮し危険防止に努めていきたいと思っています。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	研修や勉強会等には積極的に参加し、職員の知識・技術の向上に努めています。また、ヒヤリハット報告書や事故報告書を基に再発防止に努めています。	○	今後も常に努力し継続していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時マニュアルを作成し周知徹底を行なっています。また、毎年救急法の講習会に参加しています。	○	今後も講習会へ参加し応急手当や初期対応の訓練を継続的行なっていきたいと思います。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災報知機・消火器を設置。法人全体で毎年消防計画書を事業所毎に作成し昼間帯・夜間帯での定期的な消防非難訓練を実施しています。年1回、消防署立会いでの訓練や新任職員の訓練も実施中です。	○	11月に「くつろ樹」で火災が発生した場合における火災避難訓練を計画中です。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	カンファレンス会議や面会時に、ご利用者様が自分らしく当たり前の暮らしを続ける場合に起こり得るリスクについての説明及び対応策を話し合っています。	○	今後もご家族との話し合いを充分におこなっていきたいと思います。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日の健康管理表を基に状態把握に努め、情報の共有化を図っています。また、場合により訪問看護やかかりつけ医、ご家族等への連絡をおこない早急な対応を心掛けています。	○	今後も常に状態把握に努め早期発見・対応に取り組んでいきたい。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書を保管しすぐに確認が取れるように対応中です。内服変更時には連絡ノートに記載し職員への周知徹底を図っています。	○	今後も継続し対応していきたい。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日、乳製品を食事やおやつの中に取り入れています。また、個人に応じた飲食物の提供を心掛けています。便秘傾向にあるご利用者様には腹部マッサージ等の対応をおこない、できる限り自然排便となるよう心掛けています。	○	10月より、毎日1回、リズム体操を行なっています。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	個人に応じ曜日を決め義歯消毒を実施しています。食後の歯磨きの言葉掛け、必要に応じては個人に応じた支援を行なっています。	○	今後も口腔内の清潔保持に努めていきたいと思います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食の食事摂取量を記録し把握し、随時対応しています。また、毎月、法人の栄養士にメニューのチェックをしていただき、気づきや意見等を参考にしながらバランスの取れたメニューの提供を心掛けています。また、その時々々の状態や個人に応じた食事形態の工夫をおこなっています。	○	今後も常に努力し継続し対応していきたい。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルに基に実践しています。また、保健所職員による「施設における感染症・食中毒予防」研修に参加し知識向上を図っています。	○	今後も常に感染症に対する知識を深め予防に取り組んでいきたい。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具は毎回使用後に食器乾燥機に入れ対応。布巾は毎日ハイター消毒実施。冷蔵庫内や台所周辺は随時掃除を実施し衛生管理に努めています。調理前には食品の賞味期限の確認等をおこない安全な食事の提供を心掛けています。	○	今後も新鮮で安全な食事提供と衛生管理には充分配慮し対応していきたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関は自動ドアですが、庭木や花を置くなど家庭的な雰囲気になるよう努めています。	○	今後も親しみやすく気軽に出入りできるよう対応していきたいと思います。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	天井が高い分、威圧感はなく自然光も充分に入っている。季節に応じた生花等を飾り、毎月、手作りカレンダーには季節感を重視した作品を取り入れています。	○	今後も常に努力しご利用者が居心地よく生活できるよう工夫していきたい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	広間のテーブル席や周辺のソファ、台所側テレビ前のソファやデッキ、廊下のベンチ等、好きなところで思い思いに過ごされています。	○	今後もソファの位置や椅子の補充等を検討し、ご利用者様にゆつくりと過ごしていただけるよう工夫していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時には使い慣れた物品や好みの身の回り品の持ち込みについての説明をおこない、ご家族で準備していただいています。	○	今後ご家族への働き掛けをおこなっていきたく思います。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	広間、居室共に適宜換気をおこなっています。温湿度計を各居室、広間等に設置しこまめにチェックし、また、ご利用者様の意見を聞きながら冷暖房の調整をおこなっています。各居室の冷暖房は事務室にて管理可能となっています。	○	今後も常に継続し対応していきたく。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物自体がバリアフリーであり、段差等はなく手摺りも壁伝いに設置しています。トイレ内には可動式の手摺りを設置しており、個人の状態に合わせて使用しています。	○	今後も常に努力し継続していきたく。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個別支援を大切にしながら、個々に応じた対応を心掛けています。	○	今後も常に努力し継続し対応していきたく。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	デッキには自由に入出入りでき、洗濯物干しのお手伝いやティータイム、日光浴等に活用しています。デッキの前には小さい畑を作っています。	○	春には桜の花見会を計画。畑には現在、さつま芋を植えており、収穫を待つばかりです。収穫後は冬野菜をご利用者様と植える予定です。

V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・家庭的な環境の下でご利用者様お一人おひとりが個人の個性や力を大切にしながら、自分らしく当たり前の暮らしを続けられる場所であるよう努力しています。